

71 アカエリヒレアシシギ (チドリ目)

Phalaropus lobatus

兵庫県ランク:要調査

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:調

環境省ランク:指定なし

種の概要

日本では旅鳥。兵庫県では主に4-6月と8-9月に見られる。主に海上に生息するが、干潟や内陸の湿地にも飛来することがある。主にプランクトンや水生昆虫、甲殻類など、水中の小動物類を採食する。



写真提供:松重和太

国内分布

北海道、南千島、本州、粟島、佐渡、舩倉島、隠岐、見島、四国、九州、対馬、男女群島、伊豆諸島、小笠原群島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、南大東島

県内分布 ()表記の市町では2002年以前に生息確認

神戸市、姫路市、尼崎市、明石市、西宮市、(伊丹市)、豊岡市、加古川市、(赤穂市)、三木市、淡路市、(加東市)、(香美町)、(新温泉町)



生息確認時期
 ■ 2003年以降
 ■ 2002年以前

主要な選定理由

影響の人為性				生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性		
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少

県内における生息状況およびその他特記事項

新規追加種。
 主に紀淡海峡や明石海峡周辺に群れをなして渡来している。1983年6月には岩屋沖で約5万羽が記録されたことがあるが、現在では激減しているとみられる。県北部でも時々記録がある。しかし、海上の生息状況はよくわかっていない。

保護上の留意点

藻場を含む海域の保全が重要。同時に海上での生息調査を行い、減少要因を探ることが必要。



写真提供:但馬野鳥の会